

2005年に向けてのグループウェア活用

山形県米沢市立第三中学校 金 俊次

1. グループウェアの導入

米沢市では、教育委員会主導で本年4月よりスズキ教育ソフトの「キュートスタッフ」というグループウェアが本格導入された。このグループウェアは「連絡メール」「スケジュール」「生徒出欠状況」「施設・備品予約」「文書データベース」「掲示板」といった機能を持つが、「連絡メール」機能を特に使用することを各学校に義務づけている。

これにより、市内全ての小中学校へのメール、個人へのメール、校内各職員へのメールが一元化された。また、様々な公文書が添付ファイルとして学校や、職員個人に届くようになった。

4月当初、教育委員会から送られてくる公文書の処理にとまどいやトラブルがあったが、各学校のグループウェアを活用するスキルが徐々にアップし、夏休みが終わるころには、当たり前のように活用されるようになった。トップダウンによる、使わざるを得ない状況を作り出すことが、グループウェアの導入には不可欠であることを痛感した。

2. 校内でのグループウェア活用

校内でのグループウェア活用を考えたとき、一般教室からインターネット接続できる環境が完成する2005年を睨んで、生徒も活用できるグループウェアを校内では導入したいと考えた。そのため、フリーウェアの「こあっと」を校内用として導入した。「こあっと」には様々な機能があるが、今回の導入にあたって、朝の打合せ時間の短縮、情報の一元化という課題解決のため、表のような機能を中心に活用した。表にあるような情報を円滑にグループウェアに乗せる手立てとして以下のような取り組みをした。

- ①学校の様々な情報が教頭・教務に集まるような体制づくり（情報の一元化）
- ②毎日の必要な校内情報発信による、職員のグループウェア閲覧の日常化
- ③各校務分掌担当からの書き込みの促進
- ④教務による安定した情報の書き込みによる、必要感と便利さの推進
- ⑤初心者へのケア体制の確立
- ⑥グループウェアを使わざるを得ない場の設定と工夫

こあっとの機能	共有化したい情報
●お知らせ伝言板機能	・各係り・種別別からの連絡情報
●学校行事予定を個人の予定表と連動させることができる機能	・行事に関する連絡情報 ・教務の週・月歴・時間割 ・授業変更などの連絡情報 ・教頭の管理する出張関係および年休情報
●メール機能	・個人間の連絡メール ・教育委員会から通達、連絡の転送
●個人カルテ	・不登校生徒の情報を一括集約し、関係者の共通理解を促進する。
●部屋予約	・図書室・視聴覚室・学習室・校図書などの使用予約を記入する

表

3. グループウェア運用して

朝の打ち合わせの簡略化をねらいとしてグループウェアを導入した。ご承知のように、職員室には四方八方に連絡黒板がある。これらの分散した情報が、図のような画面に集約されるとによって、今日の予定や週予定表を遠くにある黒板を見に行かなくてもすむようになった。欲しい情報がコンピュータを開くとそこに必ずある状況になり、その利便性が体感できるようになってきている。毎日の活用によって、自然に職員のコンピュータスキルや、情報スキルも確実にレベルアップしてきた。



図